研修旅行にも参加

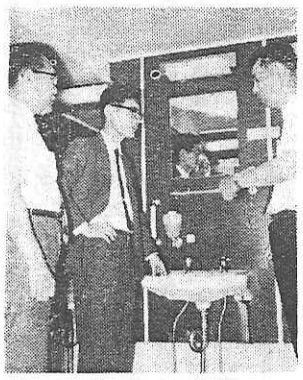
修旅の効果をめざす

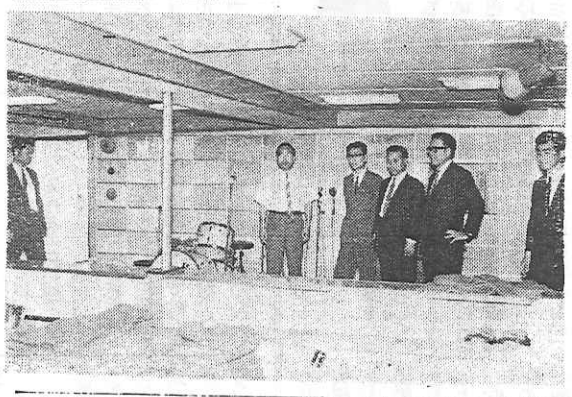
沖縄支部で活動開始

現行の修学旅行をさらによりよく、しかも効果的にするため昨年末、沖縄修学旅行研究協会が設立され、直ちに全修協支部として発足したが、すでに本部と呼応して具体的な活動をはじめた。また、修学旅行を〝実験〟し、同時に本土各地をひろく見聞するため本年から全修協企画の研修旅行に参加数職員の〝本土研修旅行〟を実施することになり、各学校に対して大がかりな参加募集を開始している。

沖縄の修学旅行は中学校が沖縄の島内各地、高校がはるばる本土に向けて行なっているが、高校のばあいは地域の関係で十五泊十六日か十八泊十九日という長期間にわたっている。したがって費用も高額となり、生徒一人あたり日本円にして四万五千円ぐらいかかりしかもいままでの慣例で積み立て金制度をとらず、全額一時納付しているのが実情である。

現行コースの見学地は鹿児島、熊本、松山、神戸、大阪、熱海、箱根、小田原、鎌倉、東京、日光、京都、奈良などで、修学旅行のメッカといわれるところを網羅している。同支部では〝子どもたちに本土の美しさ、文化の深さをじゅうぶんに見させたい〟と念願しており、来年度からは中学校もせめて鹿児島ぐらいまでは足を伸ばしたいといっている。





写真㊤は洗面所を㊦は船室で衛生・安全設備を調べる一行。（「ふじ」船上でうつす）

専用船を実地調査

【沖縄】全修協沖縄支部（沖縄修学旅行研究協会）では修学旅行の具体的な指導改善にのり出した。まず輸送の安全性確保の立場から大島運輸株式会社（有村治峯社長）の「ふじ」の実地調査がどのほど那覇港で行なわれた。

琉球政府文教局義務教育課長前田功、同社会教育課長半嶺当吉、全修協支部からは沖縄修学旅行研究協会事務局長大島修、同次長比嘉勝雄、局員諸見里安沢の諸氏が松下節夫船長や上新英営事務長らの案内で船内を見学し、安全・衛生設備の状態を調べた。前田課長らは「ふじ」が三千五百トン級の大型で、客室、洗面所など完備しているのに感心「修学旅行用には好適で現場の教職員にぜひ見てもらう機会を作りたい」といっていた。

締切り前に満員のコースも

ことしの研修旅行

全修協企画の本年度教職員研修旅行の募集は夏場を迎えて一段と活況を呈し、全国の募集機関は参加者の申込みや問い合わせに忙殺されている。

五月三十一日現在、兵庫県、福島県はすでに目標の五〇％を突破し、大阪、新潟、福井、東京の各都道府県は五〇％にもう一歩というところ。静岡、三重、長崎の各県も着々と達成率をあげてきた。とくに福島、北海道、静岡などは目標数をはるかに上回わる数をめざして活動をつづけている。

参加コースをみると、出足のわるかった北海道一周コースがぜん進出、例年のような貴禄をみせている。第二位は九州、つづいて東北一周、能登・立山、四国一周佐渡・磐梯、黒四・乗鞍コースなどが続いている。全国民注視のまとなっている沖縄へは希望者が殺倒、香港・台湾の海外コースもすでに二十名近くの申込みがあり六月末の締切り前に早くも満員のコースが出てきそう。

海洋科学館を建設

近鉄が阿児町の海岸に

近鉄鳥羽線の新設と志摩線の改良による賢島への直通に備えて近鉄では奥志摩の阿見町文岡南端海岸に〝志摩海洋科学館（仮称）〟を建設することになった。約十万平方㍍の敷地に海洋科学館、水族館、マリン・ランドなどの臨海観光施設を作る計画。来年の日本万国博開始時までにほとりあえず水族館を建設することになりすでに着工、三月には完成の予定である。

この水族館は鉄筋コンクリート一部二階建て、延べ約二千六百二十平方㍍の本館に海洋科学展示ホール、大型回遊水槽などを備え、約二百種の魚類三千五百匹を放つ。入場料は大人二百五十円、学生二百円、小人百五十円を予定。同社では〝最近関心が深まってきた海洋開発に焦点を合わせたい〟といっている。

物騒な土産物

成田

シャモジからホルマリン

観光みやげものが問題になっている―不動尊で有名な千葉県成田山付近のみやげもの店でホマリン入りのシャモジが売られていた。

福島県会津若松保健所へ六月三日、千葉県佐倉保健所から入った連絡によると千葉県成田市の成田山新勝寺の観光みやげ店で売っていた会津若松市大町鶴川木工社製のシャモジの合成樹脂塗料から食器類には禁止されている平均四五・五PPMのホルマリンが検出されたと知らせがあった。木工社の話によると問題の塗料は会津若松市内の塗装店から購入、観光みやげ用のシャモジに十年前から使っていたという。

横顔

実践型の情熱家

―全修協兵庫県支部長―

魚谷時太郎氏

○…血色のいい若い顔面から絶えず微笑が洩れる。相手の話をじっくりと噛みしめてから、間髪をいれず自分の意見を堂々と述べるあたり、頭脳の明せきと卓抜した抱負の持ち主であることの証拠。教育人として生まれてきたような人物だ。教育行政に対する大きな抱負と理想を着々と実践に移すあたり、実行型の政治家といえる。

○…進学のために存在する現在の小中学校のありかたを追放し、また、学校格差解消のため教職員人事の大刷新が急務だと力説する。昭和二十八年の兵庫県教組熱行委員長時代、ウィーンで開かれた第一回世界教員会議に出席したとき、ラジオを通じて教育論を放送した。通訳は羽仁五郎氏。そのときの感激は今でも忘れられないという。教職員の厚生問題にも深い関心を寄せ、全修協の夏期研修旅行に力を注いでおり、そのため参加者が増え全国でも優秀県になっている。

○…明石市出身。御影師範卒。三十四年間、神戸、西宮市内の小中学校を歴任後、県教組熱行委員長から日教組書記長となり前任の高田治郎氏（現在全修協北海道支部長）のあとをついで連動の指導にあたった。三十八年県議会議員に当選、現在にいたっている。五十九歳。

東京の文化財（1）

敷石に刻む年輪

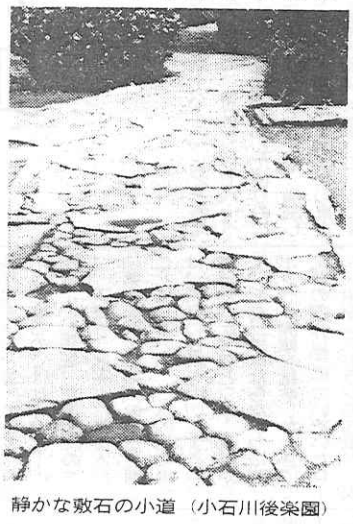
今もなお残る江戸時代

文京区の巻

文京区は面積約一一・三二平方㌔、人口約二十五万四千人。もとの本郷と小石川両区で、その名の通り文京地区である。東大、東京教育大、東洋大、日本医大、東京医科歯科大、順天堂大、拓大、お茶の水女子大、中大（分校舎）のほか各種の短大も多い。むかしの中山道、日光街道の通る本郷は最初に弥生式縄文土器が発見されたところ。しかし江戸時代まではさびしく、川柳に〝かねやすまでは江戸のうち〟といわれた。その「かねやす」は小間物屋から化粧品店になって今でも本郷三丁目交差点近くで営業している。

本郷には修学旅行の旅館が軒をならべている。これは戦前、東大が帝大といったころ大学生の下宿屋が今の姿になったものだ。この旅館街の近くにも修学旅行の際見るべきところが豊富にある。〝修学旅行のポイント〟として今回は文京区内の文化財をとりあげてみた。

【赤門】徳川十一代将軍家斉（いえなり）の三十四番目の溜姫（やすひめ）がこの地に江戸屋敷を構えていた加賀藩主前田斉泰に嫁ぐとき作られたもの。文政八年（一八二五）に着工、同十一年（一八二八）に完成した。当時は諸侯が将軍家から夫人を迎えるときには朱塗りの門を建てるのが慣例となっていた。家斉には五十五人の子どもがあり、そのうちの一人がこの前田家へ押しつけられたわけ〝日本人多産記録の記念物としても重要文化財にあたいする〟（松本清張、樋口清之氏「今日の風土記、東京の旅」）で、なかなか手きびしい。往時の原形をこれほど残しているものは外にないが、六月七日の紛争でこの重要文化財も傷ついた。



静かな敷石の小道（小石川後楽園）

【湯島聖堂】徳川幕府の学問所で、関東大震災後、再建されたもの。仰高門、入徳門、杏壇門（きょうだんもん）を経て正面に大成殿があり、孔子の像を中心に左側に顔子、愚子、右側に曾子、孟子ら四高弟の座像が安定してある。寛永七年（一六三〇）尾張大納言徳川義直が上野の山に造ったものを元禄四年（一六九一）に将軍綱吉の意志で今のところへ移した。中国のふんい気のただよう一画である。

【小石川後楽園】寛永六年（一六二九）徳川ご三家の一つであった水戸藩祖徳川頼房が三代将軍家光から与えられたこの邸地に、当時京都で造成した回遊式庭園を手本に築造したもの。二代目の藩主光圀の時代にはわが国に命していた朱舜水の意見を入れて支那趣味のあふれた造園を行ない、一般の江戸市民にも開放したという。その後いくたびの人災、天災を経て明治四年に兵部省造兵司の敷地となり、しばしば国際的な招宴場ともなった。

国内はだいたい四区域にわかれ個別的に観賞する仕組み。しかし騒音の大東京のなかに、このような静寂な庭がいまなお存在していることは不思議なくらいである。特別史蹟、特別名勝指定。

【鷗外記念本郷図書館】森鷗外は明治三五年（一八九二）一月、上野の山や東京湾などが眺められるこの地に邸宅を構えた。団子坂の別名、潮見坂にちなんで〝観潮楼〟と名付け、ここで〝即興詩人〟〝雁〟などの名作を発表した。この業績を記念して建造されたもの。多くの遺品が展示してある。

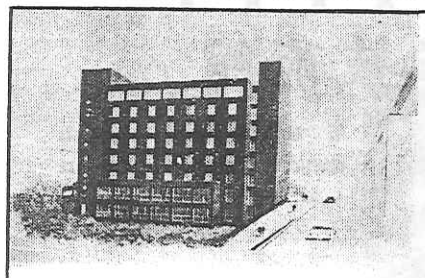
中国風な湯島聖堂大成殿の屋根と㊦は学生の乱暴で破損したタテカンも対照的な赤門。（事件の前日うつす）

修学旅行は　日本最大の　豪華観光船で

みなさまのスケジュールで全国各地へご案内します。

■すぐれた船内設備
■動く海の教室
■安全性がたかい

大島運輸
東京支店　中央区日本橋通1―6（浅野ビル）
電話東京（273）8911



大好評・連日満員

●〈ホテル〉東京コマ旅行会館は東京タワー・国会議事堂を間近に望む中心地にあり、地上8階建の近代ビルディングで、修学旅行の皆様により有意義なご旅行をしていただくために清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館であります。

TOKYO－KOMA－RYOKO－KAIKAN
ホテル〈全館和室〉
豪華で最新の設備

只今ご予約受付中！

東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03）585－1046（代表）
東京　コマ旅行会館

机上に残る想い出

ヨーロッパ旅行記⑯　岡本　仁

昨年の一月号から毎月一回、十五回連載させていただいた拙ないヨーロッパ旅行記の最終回は、旅をおえて一年半過ぎた今日、身辺を見渡して、今なお形をなして残っている旅の想い出をつづって終りとしたい。（筆者）

旅先からの絵葉書

わずか二十四日間の短かい旅であったが、私はその間に百通の便りを書いた。一日平均四―五通、それが絵葉書で簡単にすませてあるにしても、なかなか骨の折れる仕事であった。もちろん出発前に計画し、住所録を持参しているのである。ご苦労なことだと笑う人もあろうが、これも浮世の義理である。

百通の中に妻にあてたものが十九通ある。第一信、第二信とシリーズにして投函してある。第一信は北極海の機上のもので、"機内二〇度、機外マイナス五〇度"と書かれてある。消印はイギリス。最後の第十九信も機中からのもので"着地にもしもの事故がおこれば、これが絶筆になります…"とあり、いま読み返してみても、その時々の気持がつたわってくる。他人にだした便りを節約して時間をつくり、せめて封かん葉書を使ってある程度詳細な内容をもればその便りがそのまま"なまの旅行記"になったと思いかえしている。

ついでながら、航空料金のことで、未だに腑におちないことがあるので書かしていただこう。フランクフルトのホテルで、絵葉書の航空料金は一マルクだ―と、ボーイがいうという。前夜コブレンツのホテルでは、六十ペーニッヒであったので、ボーイがチップをふくめていっているのだろうとは思ったが、果して本当の送料はいくらなのか。翌日、西ベルリン空港で郵便局をみつけたので、たずねてみると八十ペーニッヒだと答えた。そこで、コブレンツで六十ペーニッヒをはって出した便りのことが気にかかっていたが、帰国してみると、六十ペーニッヒのままで追加料金なしで届いているではないか。ガイド・ブックをみると七十ペーニッヒとでている。ますますわからない。西ドイツは州によって料金が違うのかも知れない―と考えるしかない。不思議なことである。

私のアルバム製作

アルバムは暮しの記録であるから、余程ものぐさな人以外は誰でもがつくるし、どこの家庭にもあるものだ。ヨーロッパ旅行のように特別の出来事に対しては、別冊のアルバムを作るのが普通であろう。

私の今度のヨーロッパ旅行は、三十ページのアルバムで四冊にまとまった。白黒写真十本で約七百枚。カラーは七本とったが、うち二本はフィルムが空回わりしていたので五本、失敗作も多く八十枚しかとれなかった。私のアルバム製作はちょっと違っていて、写真だけをはるのではなく、ビールのラベル、包装紙、交通機関のキップ、入場券、地図―などを入れ、絵葉書を買って写真の不足を補うことにしている。日本内地の場合は、割箸の包紙を大切にするのであるが、ナイフとフォークばかりで、記念品にはならなかったが、ポンペイ廃墟を見学したときにた幕の内弁当についていたローマ・東京レストランの包紙が一枚だけある。変わったものとしては次のようなものもはってある。

携帯出国証明書（ウォルサム腕時計一個）尼崎市教委の旅行命令書、主たる買物の領収書、日本航空がくれた北極通過記念証、東ベルリン・ウンター・デン・リンデン通の街路樹（菩提樹）の押葉、各国のコイン―こうした様々のものを写真とアレンジして製作したアルバムは楽しい想い出となるものである。

ノートに誌す記録

旅行中は新書判百ページのノートをポケットに入れていて、そのつどメモ的に走り書きをしてきたのであるが、百ページを全部使いはたしてしまった。何か書こうと思うと必ずそのノートをくる。バスにゆられて書いた字もあり、当時の印象がもどってくる貴重な資料なのである。

今日まで書いたものが、四百字詰原稿用紙で約二百枚くらいになると思う。

教育事情については、○戦後二十年目の転機に際して参考になるヨーロッパの教育制度について（九枚）○ドイツの教育制度に見られる保守性と現実性―主として職業学校を通して（十三枚）○ヨーロッパ教育制度の今日的特徴（七枚）

一般的な旅行記は学校の文芸部機関誌に"瞥見と印象"―と題し五十枚ほどのものを書き、現在、財団法人全修協の機関紙"修学旅行新聞"に四十三年一月号から連載約百枚、これがその最終原稿である。

とにかく活字にして印刷し、何かに連載されたのであるが、別に反響はきかない。くだらないことを、よくもしょうこりもなく書いていると、陰口をたたかれていることだろうと想像し、赤面しているのではあるが、反面、やはり書いてよかったと考えている。口で話したことは消えてしまう。何にも残らない。拙文であっても書いておけば私の足跡としてアルバムと共に残る。これまた楽しいことの一つではないか。

わが祕蔵の土産物

修学旅行にあたって私たち教師は、土産物買いに気をとられたり荷物がかさばらないように―と、生徒に注意するのが常であるが、私のヨーロッパ旅行については、紺絣の白袴であった。さきに一日に四―五通の絵葉書を書いたといったが、土産物もまたその数位必要なのであり、税関のこと、トランクの重量制限などと関連して、なかなか頭の痛い仕事であった。

ダンヒルのパイプ、オランダの木靴の模型、モンブランの万年筆ボールペン、ゾーリンゲンの刃もものとしての安全カミソリ、鋏、爪切り、鉛筆削り、ヴェネチア硝子の文鎮、イタリアの皮製品としのネクタイ、バンド、財布、免税ギリギリまでの香水、洋酒、タバコなどを土産品としたのであるが、まことに形式的な感が深く、満足してはいないのであるが、東京の土産物屋に注文した"自分の旅行日程を地図に書き、ヨーロッパ教育事情視察記念と染めぬいた風呂敷"を記念品としてお返しに使うよりはましだと思っている。

他人様へのお土産にしたもののうち、私自身が今もなお使用しており、机上においているものには次のようなものがある。

ゾーリンゲンの安全カミソリ（約千三百五十円）モンブランのボールペン（約九百円）簡易鉛筆削り（約五百円）ヴェネチア硝子の文鎮（約千円）―あちらでの買値を円に換算すれば以上の値段になるのだが、税金を加味すればもう少し値はるであろう。しかしいずれにしても少額である。

私だけの土産には次の二つがある。寺院の模型と大理石の卵。

中世のゴシック建築の宏壮な外観とスタンドグラスに色どられる幽美な室内フンイキはもっとも魅力的なものであった。まさに地上に神の国が顕在されたものと感じとられる。ケルンのドーム、フィレンツェの花の聖母寺、ヴァチカンのサンピエトロ大寺院、パリのノートルダムの四つの模型を机上に並べて、今もなおその時の感慨を外観を通して想いおこしているのである。東京タワーの模型の普及型程度のお粗末なものではあるのだが。

大理石で作った鶏の卵、ローマの夜店で百五十円で買ったものだが、日本ではみたことがない代物なので心ひかれた。子どもじみたことだが、今も文鎮として愛用している。

ゴシック建築の寺院の模型にしても、大理石の卵にしても、第三者には通用しない、私だけの想い出の大切な土産物なのである。

＝終＝

（財団法人全国修学旅行研究協会常務理事・尼崎産業高校長）

岳のノボリ

★…長野県小県郡塩田町にある別所温泉は、ひなびたで湯として有名だが、その西方にそびえる男神岳の頂上から色とりどりのノボリを押したてて繰り出す"岳（たけ）のノボリ"という珍らしい祭が毎年七月十五日に行なわれている。永正元年（一五〇四）の千ばつの夏、村人が男神岳に九頭竜権現を祭って両乞いしたところ三日三晩、豪雨が続いた。そのお礼に二反のノボリを供えたのがはじまりといわれる。

★…この日、村人は男神岳に集まり、日の出とともに水神に反物を供えお神酒をあげる。八時ごろ、布団地や浴衣地など思い思いの反物を竹竿の先きにつけて下山するが、岳の尾までくると三頭獅子が迎え、そこで獅子舞いとササラ踊りが行なわれ、昼ごろ温泉街で解散する。雨乞いと祇園祭のシシ舞いがいつのまにかいっしょになったのだといわれる。このノボリは、肌につけると無病息災になると伝えられているが、いかにも信濃路らしい祭りである。いまは信仰上の行事というよりも温泉のレクリエーション的な催しとなっている。

祭りの歳時記

万葉史蹟めぐり ㉔

瀬戸内海

観光をかねて、豪華な船旅のできる今日の瀬戸内海航路を、万葉時代、九州に赴任する官吏や遠く唐や新羅・百済にむかう使節団等の航海にくらべると、それは到底比較の対象にもならないようなちがいである。大和から筑紫までの海路行程三十日とされていた当時の渡航は、全く想像のおよばない不安と困苦とに包まれたものであった。

○…

それだけにその道は大君の遠の朝廷（みかど）とあり通ふ島門（しまと）を見れば神代し思ほゆ（柿本人麻呂）

のように、点在する内海の島々のたたずまいも神秘にして幽遠な世界のものにも思え、

あしひきの山道は行かむ風吹けば波の塞（さき）ふる海道は行かじ（作者未詳）

と、風浪にさまたげられる恐ろしい海路でもあった。「佐婆の海中にしてたちまち逆風漂浪に遇ひたどよひて宿（ひとよ）を経たり」と、周防灘の暴風に苦しんだ遣新羅使一行のことや、柿本人麻呂（香川県坂出市にある海岸）・譽使首（岡山県笠岡市神島海岸）の作品に見るような水死者のことは、あたかもその裏付けのようなものである。

○…

しかしそれでも、陸路をとるものはあまりなかったらしく、万葉集と陸路関係歌は

周防なる磐国山を越えむ日は手間よくせよ荒しその道（山口若麻呂）

の一首しか収録していない。

若麻呂が「峠の神に手向をよくするように」と磐国山越（山口県欽明峠越）の危険を注意したのも、山陽道陸路の総括的な難渋の指示のようにさえ思える。

やはり山陽道のメーンストリートは、海だったようである。

○…

瀬戸内海渡航者の残した作品の中で、特に注目すべきものは天平八年（七三六）阿倍継麻呂を大使として新羅に遣わされた使節団のものである。彼等は泊ごとにその感懐をいくたの秀歌によって残している。

ぬば玉の夜は明けぬらし多麻の浦に求食（あさり）する鶴鳴き渡るなり（岡山県玉島市）

月よみの光を清み神島の磯廻（いそみ）の浦ゆ船出す吾は（岡山県笠岡市神島）

などは、薄明の中の清澄なツルの鳴声に旅情を慰め、こうこうたる月光の中の出航に詩情をさそわれている。

しかし彼等は、憂悶の中で都を偲び、家郷の妻子を恋うる日々の方がはるかに多かった。

青丹よし奈良の都に行く人もが草枕旅行く船の泊告げむに（広島県糸崎港）

わが故に妹歎くらし風早の浦の沖べに霧たなびけり（広島県風早港）

後首を難波（大阪港）出発の際、妻がうたった

君が行く海べの宿に霧立たば吾が立ち嘆く息と知りませ

に対しての答歌の

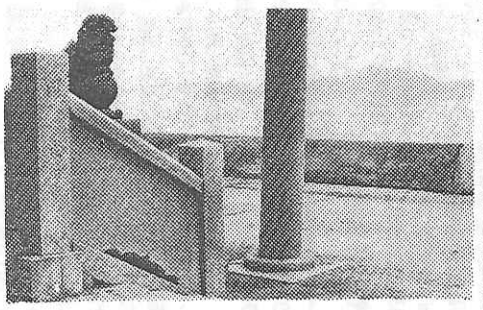
秋さらば相見むものを向しかも霧に立つべく嘆きしまさむ

と照応してみるとき、私たちは惻々としてせまってくる哀感をとめることができない。

○…

かって遣新羅使の一行や九州赴任の官吏たちの悲感をさそった港々岬々も、今は国立公園瀬戸内海の一画として明日への夢を一まいにして輝いている。

【随筆家、写真も。写真は神島の磯】



妻子を恋う憂悶の歌

堀田　勇

郷土の花

南国の海辺を飾る風物詩

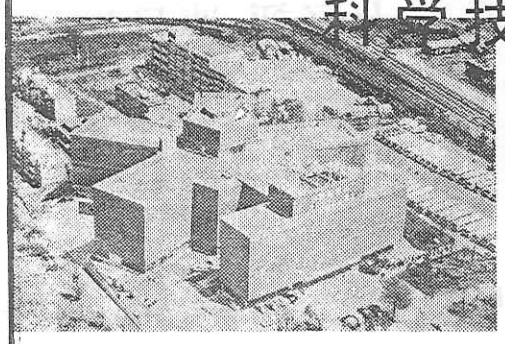
三重・宮崎　はまゆう

はまゆうは三重県志摩半島の和具大島では県の天然記念物に指定され、そのほか伊勢志摩国立公園、吉野熊野国立公園の海岸地方に群生している。また、九州の南、宮崎県の青島や日南灘の一帯にも自生、夏の南国風景に清らかな色どりを添えている。

はまゆうは暖かい海辺に咲くひがんばな科の常緑多年草本で、「はまおもと」の異称。葉は大形舌状、おもとに似ている。夏になると茎頂に香りの高い白花をつける。種子は大きく、丸い果実がなる。文珠蘭ともいう。万葉集巻四に「み熊野の浦の浜ゆふ百重（ももえ）なす心は思（も）へど直（ただ）にあはぬかも」とみえている。【写真は日南海岸のはまゆう】

100万人の修学旅行コース　★　★　★　★

科学技術館



修学旅行の教育的意義を高めるためにも、ぜひ科学技術館をコースにおいれください。

●冷暖房・団体休憩室（400名）・食堂（300名）完備
●無料大駐車場（大型バス50台）

お問合せ…東京都千代田区北の丸公園　科学技術館業務部　TEL東京(03)212－8471（代表）
★地下鉄（東西線）：竹橋下車　★日本武道館となり

南紀　白浜温泉

「牟婁辺」は平草原の中腹、白良浜、円月島、番所ケ鼻、田辺湾を一望する眺望絶佳の地にあり、湯崎の湯として古くから有名です。教職関係者と家族、退職教職員、そのほか一般のご利用をおすすめします。

鉄筋4階建・全館冷暖房客室16室（浴室付2室・洋室1室あり）そのほか大広間・娯楽室・駐車場完備

◆予約制ですからハガキか電話でお申込み下さい。

和歌山県教育関係職員互助会

牟婁辺（むろべ）

和歌山県西牟婁郡白浜町湯崎
TEL白浜局（市外局番073942）代3300